



作品ページ



作品PV



スタッフインタビュー動画

キャスト紹介! YouTube ショート



反比例な朝



起床に成功した朝



選択する朝

劇団うりんこは1973年、プロ劇団として創立。うりんことは「イノシシの子ども」のこと。猪のように子どもたちのところへ真っ直ぐ走りたいという願いを込めて付けられました。以来、愛知、岐阜、三重の学校を中心に巡回公演を続け、今では活動は全国、海外に及びます。1986年には「うりんこ劇場」をオープン。子どもたちが自らの力で自らの未来を創っていく「糧」になるような演劇を創りたいと活動を続けています。



〒465-0018 名古屋市名東区八前一丁目112番地  
**TEL.052-772-1882**  
FAX.052-771-7868 www.urinko.jp info@urinko.jp



gomen, mada, jumbichu.

# 準備中。

作・演出 永山智行

(劇団こふく劇場)

振付 古家優里 (プロジェクト木山)

美術 土岐研一

衣裳 南野詩恵 (お寿司)

照明 福井孝子

音楽 栗木健 (TheScreenTones)

音響 内田アダチ

映像 雨音ナイン (KARAKOL.act)

プロモーション ユニクロ

映像ディレクター 編集 雨音ナイン CAMERA 川浪明

シヨートルーム

映像ディレクター 編集 雨音ナイン CAMERA 玉置裕哉

記録映像 山内崇裕

写真 服部義安

宣伝美術 伊藤祐基

協力 (日記提供、声の録音、他)

青木久美・植田江梨・大迫奈々

川上結希・田中結愛・永井美優

中村颯斗・フニリン・松本万夢

森園真帆・吉岡晴加・Riko

愛知強徳中学校、高校演劇部

愛知中学校演劇部

誠信高校

瀬戸フランクイカルレッジ

テモクミティックスクールまんじゅう

東邦高校演劇部

豊田・みよしおやこ劇場

豊橋なかおやこ劇場

知多市やまももおやこ劇場

豊川おやこ文化の会

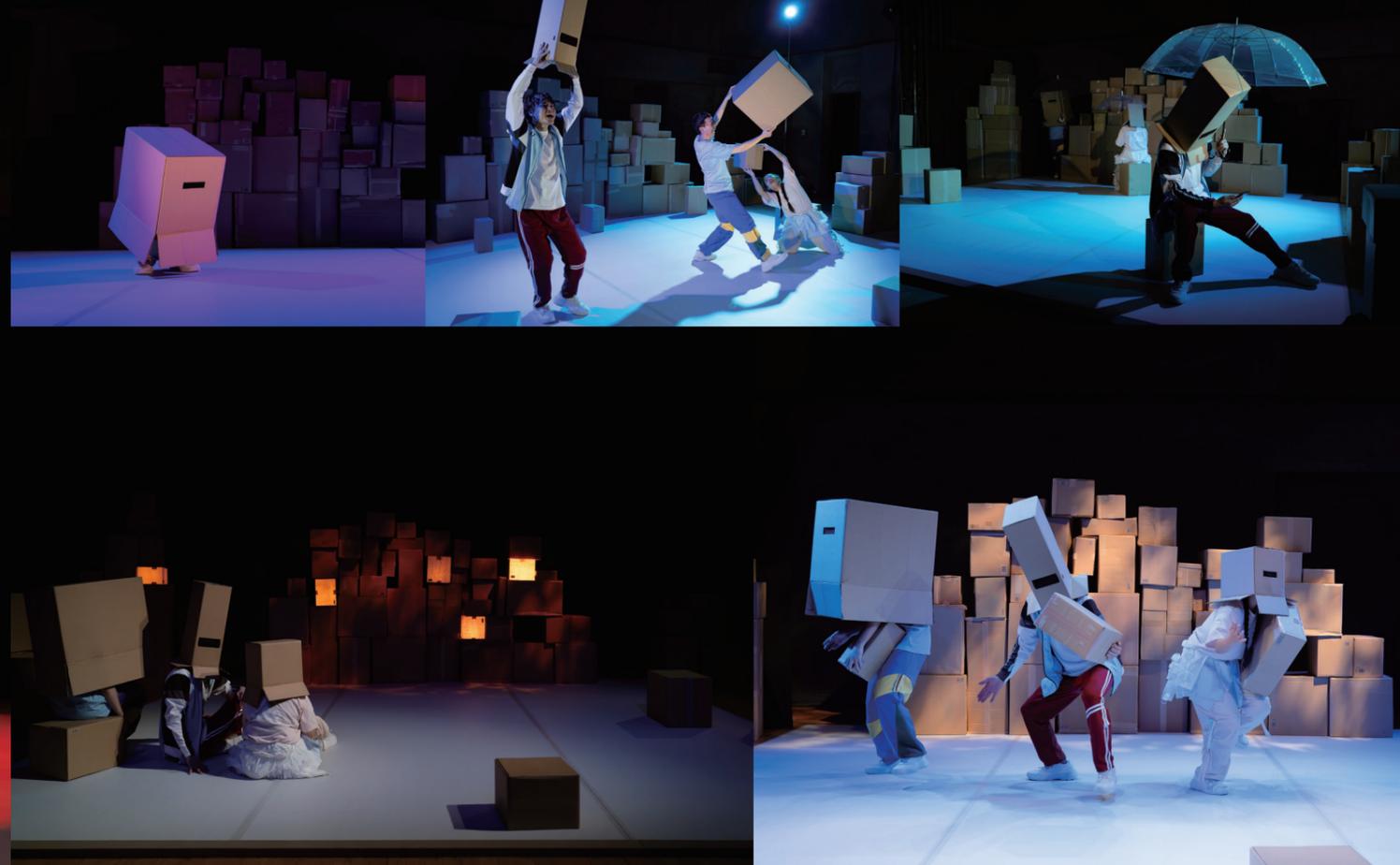
(敬称略、順不同)

企画制作 株式会社うりんこ



### 物語

そこは、劇団うりりんこの上演会場。間もなく開演時間だというのに、主演の大物俳優・うり川りん太郎は寝坊し、劇場入りが1時間遅れるらしい。場内スタッフとして参加していた、劇団うりりんこの若手俳優、シュウスケ、エリ、ユウキの三人は、りん太郎が現れるまでの時間をどうにかつなぐことになってしまった。シュウスケが昨夜見た夢の話をはじめると、三人は、17歳たちの声に出せないほんとの声流れるラジオ「声のタイムライン」の世界へと飲み込まれていく……



## 厳しさをはらみつつも温かく、肯定感に溢れる舞台



### 言葉にできない

「コスパ」だの「費用対効果」だの、目に見える「お金」や「数字」のために、どれだけ心がすり減らされているのだろう、と思うのです。何よりも、若い人たちが「キャリア」だの「スキル」だの言葉に脅されるように、自分という人間をきれいにパッケージして、値札をつけないといけなく思われているのが、ほんとうにさびしくて仕方ないのです。そんなわけで、人間の中にある、なんだかうまく言葉にできないものたちを集めて、劇場の中に置いてみました。「正解」はありません。それでも、いつも車で通る道を歩いてみたら、うっかりと、名もなき美しい花に出会った、例えば、そんな時間になればただ祈るばかりです。

作・演出 永山智行 (劇団こぶく劇場)

